



Referee Time

(審判だより82号)

2025.9.8

みなさん、こんにちは。今回は、2025年9月6日(土)一般カテゴリー選手、チーム役員向けに開催された、「審判講習会・2025年競技規則改訂」に関する講習会に講師を務めました新垣裕己さんより講習会の報告が入っています。貴重な内容となっていますので、皆様に紹介致します。

R 7 審判講習会（一般社会人対象）を開催して

日本ハンドボール協会 A 級審判員、リーグ H 審判員 新垣裕己

令和 7 年 9 月 6 日(土)北中城村公民館において、上記の講習会を行いました。競技規則変更についての伝達が主な目的ですが、本講習会を通して、沖縄が全国で勝つためや、沖縄のハンドボールファンを増やすためにできることについて共有する場ともなりました。その内容を以下に報告いたします。



(1) なぜ、毎年のように競技規則が変更になる

のか、その背景について協議

- ひと言でいうと、ハンドボールというスポーツを、より魅力ある競技にするため。
- 自身の楽しみやチームの勝ち負けも大切だが、家族や友人も含め、試合を観にきた人達にハンドボールの面白さを伝えたい。
- 今回の競技規則変更は、もちろん選手やチームのための変更ではあるが、ハンドボール競技の更なる発展（競技人口やファンの増加）も「目的のひとつ」だと考える。

(2) 主な変更点について

- ① ドリブルから空中でボールを持って踏んだ足は「0 歩」と数えること。
- パス or ドリブルに関わらず 0 歩とすることでルールがわかりやすくなった。
- 今後、ドリブルからの 1 on 1 や、縦の 2 on 2 の攻撃が増えることが予想される。
- ② エリア内防御は、6 m ラインを「踏んだ時点」で適用されること。
- エリアの中のどこまで踏み込んだらエリア内防御となるのかというグレーな部分を、オフenseと同様にディフェンスも 6 m ラインを踏んではいけないことと変更することで、ルールをよりクリアにした。
- 前提として、明らかな得点チャンスかつ、それがシューターに影響がある場合に適用する。
- 明らかな得点チャンスとは、シューターとキーパーの間に誰もいないことを指す。
- ③ 7 m スローからがキーパーの頭部へ当たるとレッドカードではなく 2 分間退場
- 頭部に当たるとは、ボールの軌道が変わること。
- それ以外の場面でキーパーの頭部に当たった時の 2 分間退場の適用は、「明らかな得点チャンス」が前提であること。(反則をされての顔面は適用されない)

これから男女リーグや仲田杯など、一般の大会が始まります。本講習会で学んだことをコート上で発揮できたら幸いです。ありがとうございました。

リーグ H 審判員 新垣裕己